

皆さんは年末年始いかが過ごされたでしょうか。彩り豊かなおせちをご家族で囲んで食べたり、お友達同士集まってお酒を飲んだり、楽しい時間を過ごされたことだと思います。私は、ほんやりテレビをみながらお餅を食べては昆布茶をする。これの繰り返しと運動不足が重なり体重計に乗るのが怖い状況になっております(笑)。お餅を食べるにはこの時期だけなのでまだいいのですが、昆布茶の旨味としょっぱさ、お餅のもつ甘さと食感が相成って手が止まらなくなってしまいます。この組み合わせがもつ魅惑の力に毎年脱帽です。ちょっと大袈裟にお餅への愛情を語ってみました(笑)。私は人よりもっとだけ食べる傾向があるのですが、量が多ければいいではありません。

味にもこだわりがあります。そんな話を同僚にすると「メンドクサイ奴だな!」と怒られました(笑)。ちなみに毎朝コンビニで買ったアイスカフェラテを事務所で飲むのですが「みてるだけで寒くなる!」と言われます。新年早々怒られてばつかです(笑)。

○ 坂 拓磨
○ 33歳 二児の父

新入社員 坂(パン)が昼ごはんにまつわるエピソードを綴る
昼だけどパンメシ! 番外編



わかったらハガキで応募! クイズのコーナー!



先月号のクイズは「12月になって寒さが増してきました。では寒さが増すにつれて、あつくなるのは何でしょうか?」答えは「服」。外出するときはつい厚着になってしまいますよね。ですが送って頂いた答えで一番多かったのが「氷」でした。確かに寒さが増すにつれて外に置いてあったバケツにはる氷が厚くなるのを目の当たりにします。ということで「氷」も正解。正直、氷という答えは想定していませんでした。ハガキを送って頂いた方々の思考の深さ。おみそれしました! 今回は新年一回目の当選者発表。いつもより1名多い4名の方に「緑茶・かりんとう・あられ詰合せ」をお送りします。当選者は四万十市下田のT様、川登のT様、黒潮町下田の口のY様上川口のI様です。おめでとうございます! ではここで今月号のクイズです。問題「お酒やたばこを楽しめるのは20歳をこえてから。では車に乗れるようになるのは何歳からでしょうか?」答えがわかった方は郵便番号 787-0009 住所 四万十市佐岡 446 ドリーマー中村葬祭館かわら版1月号プレゼント係までご応募ください。正解者の中から3名様に寒い日に食べる時は温かく食べて欲しい。「信州そば・細うどんセット」をプレゼント! ドシドシご応募ください。

スタッフ一同、ご応募お待ちしております!

健康にお気をつけ下さい。これから冬本番となります、どうか皆様も撒いて浴室を温めなどがあります。暖房器具で対策としては脱衣所やトイレを入浴前に湯船のお湯を

旧年中は格別なご高配を賜りまして、今年もより一層のご支援を賜りますようお願い申上げます。従業員一同心よりお願い申しあげます。まことに有難く厚くお礼申し上げます。

～ 事前相談のススメ ～

吐く息が白くなると、もうすぐ受験シーズンがそこまで来ていることを教えてくれている気になります。あまり勉強が好きでは、なかつた中学校時代。入れそうな高校をなんとなく受けて、どうにか合格した記憶がこの時期、頭をよぎります。「勉強しなさい!」と怒るように言っていた親の気持ちがわかるのは、大人になった今だから。当時は反抗期もかさなり、軽く聞き流していました。

「のちに自分が苦労をしてはじめて実感後悔する」私が経験から学んだ事です。もし共感して頂けるのであれば、同じ後悔をしない為にも、大切な人の最期、事前相談してみませんか? お気軽にお問合せ下さい。

年に一度は必ず相談しておきたいのが、高齢者にとつては主要な死因として有名で高知県でも増えています。特に高齢者には、体温変化に伴う血圧の乱高下や脈拍の急変動で、ヒートショックは体感温度の急激な変化によって脳出血や心筋梗塞などの危険な症状を発生させることがあります。これを防ぐには激しい温度変化を避けるのが重要で、対策としては脱衣所やトイレを入浴前に湯船のお湯を

毎月 20 日に
新聞折込
します!!



ドリーマー中村葬祭館

これを知って!! のコーナー

家族を
見送るとは?
考えてみました



- 佐竹 健作
- 年齢 61歳
- 空手三段ですが最近体の衰えを感じます(笑)。

どんな葬儀であっても故人を敬う気持ち・感謝の気持ちがなければ大きくて、小さくても本当の葬儀ではない様に思います。核家族化が進みニュースでは考えられないような近親間での事件がある中で、先祖の苦労やこれまで育ててくれた恩を忘れ一人で誰の助けもなく育って来た様に自負する方が増えてきていると聞きます。都会では葬儀もせず、火葬のみを行いご遺骨も受け取らない方が多くなっているそうです。でも、よく考えると先祖が代々血をつなぎ親があなたを育ててくれたおかげであなたが存在しているのです。そこにどれだけの歴史・苦労があったかを忘れているのではないかでしょうか。葬儀は、今まで自分を育ててくれたおじいちゃん・おばあちゃん・お父さん・お母さんに感謝して行うのが本当の葬儀で、無事に送ってあげたいという心であることを再度認識することが大切ではないかと思います。たとえ葬儀に費用がかかったとしても、又小さくても心のこもった葬儀でも、人生の中で何度もあるものではなく、なくてはならない儀礼です。自分が存在できているのは? その答えを自問し自分なりに考え方を見直す時間が必要なのではないでしょうか。

お葬儀までのおおまかな流れ

- ①ドリーマーに葬儀の依頼(24時間対応しています)
- ②ご家族様と担当者が打ち合わせ(ご要望をお聞きします)
- ③担当者が見積作成(わかりやすくご説明します)

ここがポイント!!

この段階で大体の葬儀代金がわかります。ここでご予算が合わないようであれば、再度ご希望に合うよう見積作成をさせていただきます。ということは?



予定通りのご予算でお葬儀を
していただけます



ですから安心して私達にお任せください。どなたでもお葬儀していただけますが、私達ドリーマーは互助会の会社ですので事前に入会頂ければ割引等会員様特典がございます。まずは資料請求を!! フリーダイヤル 0120-129-432

ホームページに

お葬儀に関する大事な
お金のことのせています!!

お客様の疑問にお答えしたいと思い、ホームページをつくっています。「事前相談にいくのはちょっと抵抗があるのだけど」そんな方にはオススメです。メールによるお問合せもできますので一度ご覧になって頂ければありがとうございます。スタッフにより日常をつづったブログを毎日更新しています。



ドリーマー

検索

